



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.50
2024

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<https://www.shakyo.or.jp/hp/1761/>

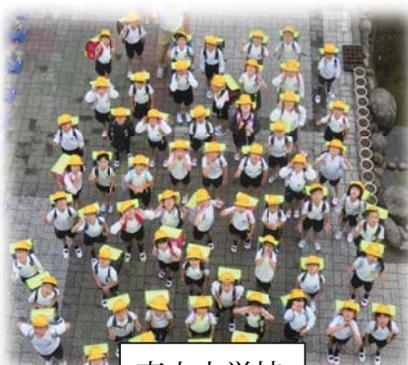
今年もたくさんの「笑顔の花」が咲きました。



町民のみなさん、「安心」をありがとう！



内之浦小学校



高山小学校



岸良学園



国見小学校



宮富小学校

肝付町社会福祉協議会では、「県下一元気で安心・安全な町づくり」の一環として、『赤い羽根共同募金』を財源として町内の新一年生に毎年防犯ブザーを贈っています。子どもは「社会の宝」「地域の宝」、そのかけがえのない笑顔を地域ぐるみで温かく見守りましょう。

◆記事内容◆

- 日本赤十字社肝付町分区からお知らせ・・・ P2
- 令和6年度肝付町在宅福祉アドバイザー紹介/社協会員募集・・・ P3
- パラスポーツ活動紹介/福祉教育紹介・・・ P4
- ボランティア活動紹介/令和6年度ボランティア保険掲載・・・ P5
- 「四季のたより」養護老人ホーム国見園・・・ P6
- 「成年後見制度について」おおすみ地域成年後見センター・・・ P7
- 肝付町共同募金委員会からお知らせ/結の家通信・・・ P8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い!

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを!

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています!

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています!

日本赤十字社肝付町分区からお知らせ

日本赤十字社肝付町分区 令和5年度活動報告

日本赤十字社会員増強運動月間（5月）へのご協力ありがとうございます。引き続き、寄付金等についても受け付けておりますのでよろしくお願いいたします。

日本赤十字社は、会員から寄せられた会費・寄付金を財源に、支援物資の備蓄、救護班の訓練・組織化をおこない、災害等が起こった際に備えています。肝付町分区でも台風・水害などの被災者に救援物資の配布や訓練、実演などの啓発活動による防災意識の向上に務めています。

令和5年度実績

災害支援物資配布実績

・被災件数2件〈毛布3枚・日用品類2セット・タオルケット3枚・ブルーシート2枚〉



炊き出し訓練実績

・非常炊き出し訓練3回 ・肝付町赤十字奉仕団による炊き出し実演1回



赤十字講習会活動実績

・救急法22件 ・水上安全法0件 ・幼児安全法8件



災害時に派遣されるDMATやDOOTって？

国内外で災害が人々の生活を脅かし日常が奪われるニュースを耳にしますが、そんな時、国内において即座に派遣されるDMATがあります。これは、医師や看護師などで構成される「災害派遣医療チーム」と言われ、発災からおおむね48時間以内に活動できるように構成された医療チームです。

能登半島地震においても本町社協から個別支援調整のためにスタッフが順次派遣されています。

災害は、起こってから「緊急時」→「応急時」→「復旧時」→「復興時」などと分類されると言われ、災害の規模にもよりますが、長い時間をかけて「日常」を取り戻していくことになります。

そんな過程において、DMATのほかに次のような専門チームがありますので主なものを紹介します。

- ▶ **JMAT** 日本医師会により構成された災害医療チーム
- ▶ **DPAT** 精神医療や精神保健活動を行うチーム
- ▶ **DWAT・DCAT** 福祉や介護・相談などの支援を行うチーム

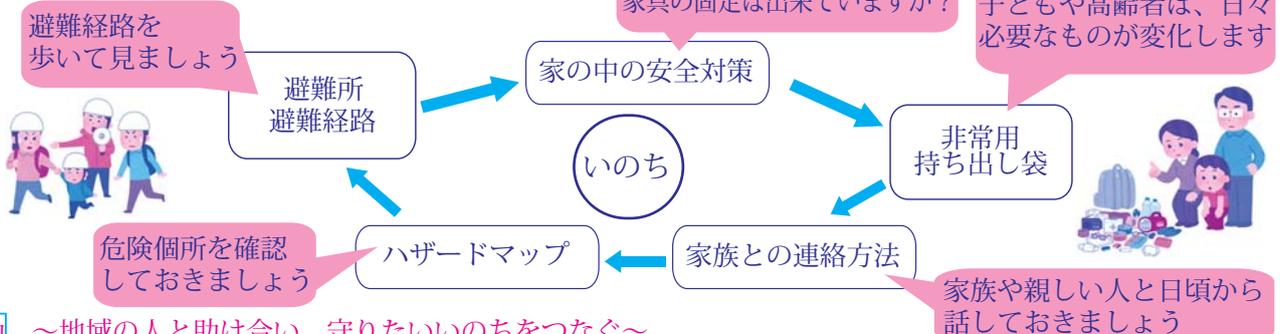


(写真) 能登半島地震災害へ派遣される災害派遣医療チームの出発式→

人類はその長い歴史において、いろいろな災害やパンデミックに見舞われながらも、そのたびに英知と想いを結集して脈々と命をつないできました。「備えあれば憂いなし」とよく言われますが、実はその前に「居安思危」（平常時に非常時のことを考えておこう）があります。もうすぐ梅雨の時期も参ります。非常時の備えや危険箇所はないか？など、常日頃から意識してご家庭やご近所で話題にするもの良いのではないのでしょうか。

災害への備えできていますか！？

自助 ～自分のいのちは自分で守る～



共助 ～地域の人と助け合い、守りたいいのちをつなぐ～

ご近所との良好な関係は、お互いを助け合うことにつながります。

日頃からのあいさつや防災訓練、地域の行事や活動に参加するなど、顔の見える交流を続けましょう。

災害時は声をかけながら率先して避難しましょう。

その姿が周囲の人たちに危険を知らせる信号になり、地域の人々のいのちを守るにつながります。

公助 ～公的機関による支援～

災害時は、「公助」を行う行政機関やその職員も被災し、混乱することが想定されます。また、警察や消防、自衛隊といった機関の支援も、災害の規模によってすぐに届かない可能性があります。日頃と同じような対応ができなくなることを理解しておきましょう。

令和6年度肝付町在宅福祉アドバイザー紹介

在宅福祉アドバイザーとは、民生委員の方から推薦を受け、地域の高齢者の方を中心に声掛けや安否確認など、地域で見守り支援ボランティアを行う方々です。在宅福祉アドバイザーの任期は、民生委員と同じ3年間ですが、中には1年度ごとに変わる振興会もあります。

☆高山地区☆

No	氏名	振興会名	No	氏名	振興会名	No	氏名	振興会名
1	和田 タキ子	西 仮 屋	26	大野 好子	八 幡 馬 場	51	前田 京子	上 之 原
2	中濱 ヒデ子	一 ツ 松	27	山口 つた江	中 町	52	野尻 昭子	西 が 丘
3	柳井谷 昭郎	柳 井 谷	28	中村 晴代	中 麓	53	桐野 寛子	西 が 丘
4	中島 淳子	波 見 下	29	森田 順子	西 麓	54	長濱 久美子	上之馬場3区
5	坂口 千津子	荒 瀬	30	谷口 徳子	新 町	55	永野 かず子	論 地
6	東 ヨシ子	平 後 園	31	東膳 とみえ	長 珠 庵	56	中窪 悦子	論 地
7	内之倉 百合江	上 原	32	永吉 智子	中 村 園	57	皆元 ゆみ子	岩 崎
8	篠崎 美津子	塚 崎	33	森 千鶴子	下 永 山	58	松田 ツルエ	岩 崎
9	有留 秀子	花 牟 礼	34	安藤 孝子	神 之 市	59	福迫 謙一	稲 村
10	山内 敦子	花 牟 礼	35	中園 正子	下 住 上	60	柿園 信子	宮下川南
11	黒木 貴子	津 曲	36	大江 典光	三 反	61	梶 優子	宮下川南
12	田中 理恵子	水 窪	37	木佐貫 一子	下 住 下	62	末次 すみ子	宮下川北
13	渡口 サツ子	池 之 園	38	福岡 文子	下 住 下	63	奥 道子	富 山
14	富永 かず江	池 之 園	39	中村 星美	福 留 町	64	有村 サダ子	富 山
15	石原 淳子	下 之 門	40	別府込 サヨ子	新 生 町	65	豊重 キヨ子	富 山
16	釘田 チナ子	東 横 間	41	鳥越 義信	西 之 宮	66	末廣 真志子	富 山
17	相星 順子	東 横 間	42	近藤 津代志	栄 町 坂 中	67	松元 和枝	谷 山 迫
18	新川 真理子	西 横 間	43	山下 正敏	赤 池	68	戸柱 百合子	協 和
19	今村 タマ	東 迫	44	大田 初美	下 西 方	69	松元 徳子	白 坂
20	迫 カヤ子	東 迫	45	市坪 美和子	上 西 方	70	木村 恵智子	中 原
21	森 朋子	西 丸 岡	46	上野 岸子	長 能 寺	71	森 千帆	染 木
22	飯田 孝子	小 牧	47	大平 知恵子	旭 が 丘	72	鶴留 友子	後田西山下
23	有留 美保子	本 町	48	中村 良子	上之馬場1区	73	新村 そえ子	本 城 下
24	立石 みす子	本 町	49	小川 純孝	上之馬場2区	74	竹山 正子	本 城 上
25	大窪 恵	博 労 町	50	久保 孝子	上 之 原	75	上片野 フミエ	片 野

☆内之浦地区☆

No	氏名	振興会名	No	氏名	振興会名	No	氏名	振興会名
76	小串 敏行	小 串	82	鮫島 栄一	平 牟 田	88	竹中 ひとみ	東
77	愛甲 隆一	檜 脇	83	西森 あつ子	馬 込	89	中野 ヒサヨ	上 西
78	井手 りえ子	天 神	84	牧谷 弘子	侍 金	90	本田 千代子	浜
79	江夏 輝代	柵 木	85	前田 美穂子	小 田	91	吉永 ミツ子	浜
80	福迫 美恵子	津 房	86	本橋 仁子	上 建			
81	宮後 竜一	坂 本	87	永野 みよ子	上 向			

令和6年度 社会福祉協議会の会員募集にご協力をお願いします

社会福祉協議会（社協）は、**社会福祉法で唯一『地域の福祉』を推進する社会福祉法人**と位置づけられており、それを実現するための各種福祉事業や、在宅介護を支える公益性の高い介護サービスを実施しています。

高齢者や障がい者の方々はもちろん、**町民のだれもが明るく安心して暮らせる元気な福祉のまちづくり**のために、住民・企業・事業所・団体によって組織される団体です。

会員の種類	対象	会員(年額一口)
一般会員	町内各世帯	500円
特別会員	特に社会事業に賛同いただける	1,000円
団体会員	町内の保険、医療、福祉団体、	
個人会員	企業、事務所、町内外も個人	

※一般会費については4月に各振興会長・班長さん方のご協力をいただき、各世帯にお願いしております。



「ウォーキングフットボール」 SAGA2024に出場!

4月14日、佐賀市の「SAGAアリーナ」で、10月に佐賀県で開かれる「国民スポーツ大会(旧国体)・全国障がい者スポーツ大会」のオープン競技としてウォーキングフットボールが開催されました。ウォーキングフットボールは、イギリスで発祥した「歩くサッカー」の総称で、国内外のプロチームも練習に取り入れています。競技は「走らない」「接触しない」「奪わない」などのルールがあり、いろいろな個性の人達や性別・年齢問わず一緒に汗を流せることもあり、ハートフルなスポーツとしても注目されています。大会には東京都や神戸市など全国からも参加があり、約100名の選手や関係者が競技と交流を楽しみました。鹿児島県からは、サッカー関係や鹿屋体育大学のご協力もあり大隅地区の市町で構成した「パラスポおすすめ」として参加しました。車椅子で参加した谷口徳博さん(新町振興会)は相手チームのシュートやパスコースをふさいだりしてフル出場の大活躍でした。



第13回「とっておきの音楽祭inかのや」イベントに参加

パラスポーツ体験



展示コーナー



5月3日、「とっておきの音楽祭inかのや」が鹿屋市市民交流センターにて開催され、パラスポおすすめが団体の周知・啓発を兼ねて観客と一緒にボッチャやフライングディスクを楽しみました。このイベントは今年で13年目を迎え、パラスポおすすめは今年度2回目の参加となりました。当日は天気にも恵まれ、障がいの有無に関係なく多くの参加者で賑わっていました。

福祉教育を学びました(波野中学校1年生)8名

肝付町社会福祉協議会では、福祉への理解と関心を持つ児童生徒を育成する目的で、福祉講話や高齢・障がい者の体験などを実施しております。今回は、令和6年2月8日に波野中学校で実施され、8名の生徒が福祉について学びました。



養護老人ホーム国見園からの 四季のたより

養護老人ホーム国見園では、引き続き感染症対策に取り組みながら、秋から年末年始にかけて、入居者様と一緒に楽しく過ごした行事をご紹介します。

2024
近所の神社に初詣に行きました。
良い天気にも恵まれて、お守りも買って帰りました☀



＝かみかみ体操＝
誤嚥予防・口腔機能向上の為、食事前に口腔体操を行っています



◆養護老人ホーム国見園
〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富 4585 番地 2 TEL : 0994-65-2302 FAX : 0994-65-1560

スタッフ募集については、直接お問い合わせください。【担当：中村（浩）】

おおすみ地域成年後見センター

(大崎町・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町)



あなたの権利と財産を守ります！



◎成年後見制度に関する相談支援

成年後見制度の説明や利用手続の助言など成年後見制度に関する相談（電話・面談・訪問）に応じます。

・相談時間 月曜日～金曜日

午前9時から午後5時まで

・専門相談（要予約）Tel: 0994-68-8188



法律的な知識や判断が必要な成年後見制度に関する相談について、司法書士が面談等で応じます。事前に相談内容をお伺いし、専門相談が必要と認められる方のみ予約を受け付け、日時を決めてセンターに来ていただきます。（来所が難しい場合は、施設等へ出向くことも可能です。）

相談は無料で、秘密は固く守られます。
制度に関することならお気軽にお問い合わせください。



おおすみ地域成年後見センター

Tel: 0994-68-8188

Fax: 0994-68-8187

Mail : Ko-Ken@po3.synapse.ne.jp

あれこれ決められなくなる前に！知っておこう。備えておこう。



赤い羽根共同募金

—じぶんの町を良くするしくみ。—



町民の皆様からの善意により集められた“赤い羽根共同募金”は鹿児島県共同募金会から翌年度に肝付町共同募金委員会へ交付され、これを財源に福祉または福祉に関連する分野で住みよい地域づくりにつながる、わが町の地域福祉活動に取り組む団体・ボランティアグループ等を応援するための助成金として役立てられています。

〈令和5年度の助成金事業〉

- 地域福祉事業 ○地域づくり事業 ○福祉団体育成事業 ○ボランティア団体活動事業
- 高齢者いきいきサロン事業 ○特別支援学級の教材等 ○夏休み子ども講座（公民館）など



人と人の心を結ぶ 〈地域の活動紹介〉

2月上旬【波野・有明地区】、【川上・国見地区】を対象にサロンや支え合い活動など、地域で活躍されている方々と【宝さがしの会～次へのステップ明るい未来へつなぐ～】をテーマに、上記地区の「結いの家」で語り合い会を開催いたしました。本会は、地域の身近な場所、物、人物、困りごと、あったらいいなというお宝（資源）を地域の方々と共有して“みんなが安心して住みなれた地域に暮らし続けるため”の《地域づくり》に向けた語り合いをおこなうことにしております。

第1回目となった今回、語り合いをとおして、まずはこの場でつながっていただくこと、ご自身が住む地域には、どんなお宝があるのかなど、お茶を飲みながらゆっくりと語り合い、様々なお宝を共有していただきました。今後も地域の皆さまと共に地域への理解を深め、住みよいまちづくりを目指して語り合いを続けて参ります。



《お問合せ先》
肝付町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
向原・中村
TEL 68-8188

地域を元気に!!

